

史学・文化財学科

令和2（2020）年度 史学・文化財学科の取り組み

教授 松森 武嗣

「別府大学教員採用試験対策勉強会」は、顧問教員のアドバイスを受けながらも、「主体性」「連携」「継続性」の基本方針のもとで、中学・高校教員を目指している史学・文化財学科所属の有意な学生が参加し運営している勉強会である。

立ち上げ12年目である令和2年度の活動状況としては、新型コロナウイルス感染拡大により、大学の授業そのものが、前期の前半はほとんど遠隔授業で、後半においても一部の実習・演習系のみが対面授業となったが、サークルなどの活動は実施されることはなかった。また、後期は、当初から実習・演習系の授業を含めた対面授業が行われ、11月からは、講義系の授業にも一部拡大された。このような年度であったため、サークル活動ができない状態であった。そのような中でも、会長がZoomを使って勉強会を実施したこともあった。

いずれにしても、勉強会活動そのものできない状況の中、できる範囲での活動となってしまった。本年度に關係する限り、活動内容を明示できる状況ではない。来年度の勉強会活動へと繋がるかが心配となっている。

国際経営学科

令和2（2020）年度 国際経営学科の取り組み

教授 高木 正史

本年度は4年生の下稲優太郎君（宮崎県立都城商業高等学校卒）が2020年10月に母校での教育実習（商業科）を行った。新型コロナウイルス感染症の影響が全国に及ぶ中での教育実習となったわけであるが、無事に実習を終えた。

筆者の担当科目の中でも商業科教育法Ⅰ・Ⅱについていえば、一部、オンラインでの授業を展開した。本授業は「模擬授業」が主となる科目であるがゆえに、オンラインでいかにして授業方法を教えるか、非常に苦労した。しかし、その後、対面での授業練習を行うことで、履修学生3名の授業のレベルは向上した。